

がんを克服し、安心してがんと生きる社会を実現

世界を牽引する新しい医療の先駆者・体現者となるセンターの実現

ゲノムなど情報を駆使したがんの本態解明と有効な予防法の確立/  
患者一人ひとりに最適な治療と支援による疾患との共存の実現

データ・研究開発基盤の強化  
による革新的研究の創出

-がんを中心とする医療・医学の  
発展への貢献-

患者・国民本位のがん医療の  
実現につなげる研究開発体制  
の強化

-研究成果を患者・国民の果実へ-

卓越した医療実績に基づく  
情報発信・次世代のがん医  
療の実装と普及

-グローバル・イノベーション・  
センターへの飛躍-

研究開発基盤の集約と連携

がん登録の運営と拡充及び大規  
模コホートの構築と活用

分析・解析機能の充実

人材が集まり育つ場の整備

基礎研究と開発研究の総合化

社会医学の研究体制の再構成

中央・東病院が強みを活かした  
医療の展開

実証の場・ネットワークの拡充  
がん対策の情報発信

海外連携の拡充・拠点整備

NCC内外の研究支援

プラットフォームの形成

研究組織の再編成

NCC内→国内拠点→海外拠点

「第三期中長期目標期間中の重点的取り組み」の対照表

研究開発基盤の集約と連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バイオリソースセンターの設置と企業協働</li> <li>○がん全ゲノム計画の実施</li> <li>○小児AYA世代の治療開発促進（診断プラットフォーム）</li> <li>○相互運用性を重視したデータ共有基盤の整備</li> </ul>
がん登録の運営と拡充及び大規模コホートの構築と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん登録の運用とデータ活用の最大化</li> <li>○疾患横断的な解析が可能なコホートの構築 個別化予防・健康寿命延伸に資するエビデンスの構築</li> </ul>
分析・解析機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○AI・ICTによる開発・連携の推進</li> <li>○データサイエンスのための基盤構築</li> </ul>
人材が集まり育つ場の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医学以外の専門分野の研究者への積極的な研究の場の提供</li> <li>○グローバルリーダーの育成</li> <li>○データサイエンスにおける研究支援やELSIに優れた者などの専門人材の育成</li> </ul>
基礎研究と開発研究の総合化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ARO機能の充実（TRとの融合）</li> <li>○ソリューション型による事業化への展開</li> <li>○産官学連携の強化（企業への積極的なアプローチ）</li> <li>○スタートアップ企業・法人等の設立</li> </ul>
社会医学の研究体制の再構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な社会医学の研究組織体制による研究の推進</li> <li>○疫学的なコホート研究による予防や疾患横断的な予防法の提言</li> <li>○リスク層別化を用いたがん検診実施体制の構築</li> <li>○支持・サバイバーシップ領域のエビデンスの構築</li> <li>○予防～サバイバーシップ全体を俯瞰した調査／政策研究</li> </ul>
中央・東病院が強みを活かした医療の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○FIH試験アジア1位の実現、TR機能の強化</li> <li>○希少がん・難治がんに対する治療の推進</li> <li>○低侵襲治療、光免疫療法、支持療法など新たな治療法の開発・提供</li> <li>○革新的な医療機器や新たな創薬の開発</li> <li>○診断・治療の均てん化の推進</li> </ul>
実証の場・ネットワークの拡充、がん対策の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティに溶け込んだ研究開発の場の創出</li> <li>○がん情報提供・相談支援体制の構築</li> <li>○全国のがん医療ネットワークのハブ機能の構築</li> </ul>
海外連携の拡充・拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジアネットワーク構築による開発体制主導</li> <li>○各国センター・国際機関との連携強化</li> </ul>
運営基盤の強化・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務のIT化の推進</li> <li>○広報連携体制・企画力などのスキル強化</li> <li>○築地・柏地区の再開発を踏まえた施設整備の検討</li> <li>○情報インフラの基盤強化</li> </ul>

R3～R8

第三期中長期目標期間

研究開発基盤の集約と連携

がん登録の運営と拡充及び大規模コホートの構築と活用

分析・解析機能の充実

人材が集まり育つ場の整備

基礎研究と開発研究の総合化

社会医学の研究体制の再構成

中央・東病院での医療の展開

実証の場・ネットワークの拡充

海外連携の拡充・拠点整備

運営基盤の強化・その他

R9～R14

第四期中長期目標期間

- 日本一の研究基盤の利活用環境の充実
- 新たな予防・医療・医薬品医療機器の創出

- グローバルリーダーの育成・輩出
- 基礎から開発までのシームレスな研究体制の活用

- 将来の生活様式や医療展開を見据えた先進的な病院の再構築
- アジアでのイニシアティブをとり、米・欧州への競争力の強化

- 世論の多様性、災害や社会的環境の変化へ速やかに対応出来る体制構築
- 柔軟に展開できる財務体質への変貌